

## 史上最高値を更新した世界の株価

Raku  
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am  
fund academy

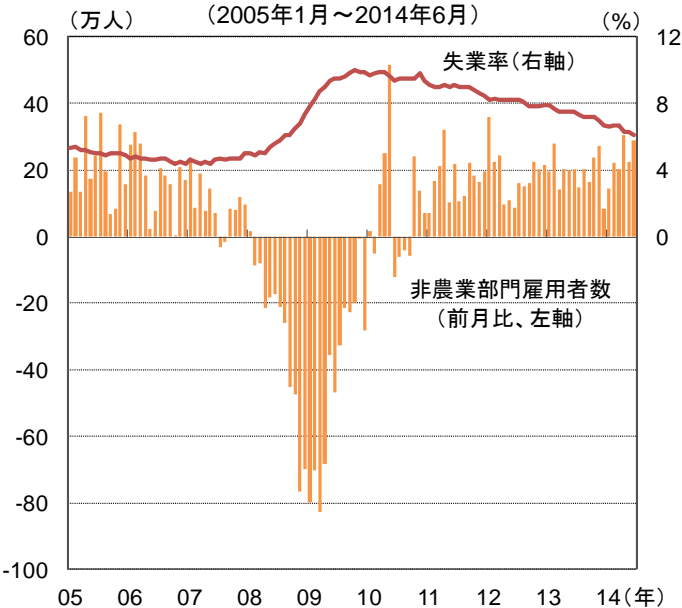
ユーロ圏の金融政策を担うECB(欧州中央銀行)は3日の理事会で、政策を現状維持としたものの、企業への融資促進に向けて6月に導入を決めた長期資金供給オペの詳細を発表したほか、必要に応じて量的緩和を行なう用意があるとの姿勢を改めて示しました。また、同日に米国で発表された6月の非農業部門雇用者数は前月比+28.8万人と、市場予想(+21.5万人)を大きく上回ったほか、失業率も前月比▲0.2ポイントの6.1%と、2008年9月以来の水準へ改善しました。これらが好感され、欧米株式相場が上昇し、米国のニューヨーク・ダウ工業株30種やS&P500指数だけでなく、世界の株式市場の動きを示す代表的な指標であるMSCI ACワールド指数も史上最高値を更新しました。

米国では今回、4、5月の雇用者数が上方修正されたこともあり、4~6月の雇用の伸びは月平均27万人超と、1~3月の平均約19万人からペースが大きく高まりました。こうした動きは、同国のGDPの約7割を占める個人消費の拡大などを通じて、景気拡大の追い風になると期待されます。また、景気の先行き不透明感が強まっていた中国でも、4月以降、景気下支え策が導入されたことなどから、足元で経済指標に改善が見られるようになっています。

今後も、米・中を中心とした経済指標の堅調・改善などを背景に、世界景気の回復・拡大見通しの確度やペースが高まれば、世界の株価の上昇につながると見込まれます。その一方で、米国での雇用・景気の改善は、利上げ見通しの前倒しにつながる可能性もあります。ただし、ECBの包括的金融緩和策の効果などから、ユーロ圏の金利が今後も低位で推移し、米国の長期金利の上昇をある程度抑えたと見込まれることも、世界の株式市場にとってプラス要因と考えられます。

## 米雇用指標の推移

(2005年1月~2014年6月)



出所:米労働省

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

## 世界株価および欧米国債利回りの推移

(ポイント)(週次:2005年1月7日~2014年7月3日)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。